

科 目		音楽史（前期）				
担当教員	越野陽子	学年	3	履修期間	前期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	講義	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	音楽の歴史を知ることにより、人間がどのように音楽(芸術)と関わって来たかを学びます。人間の心の成熟のために音楽がもたらした功績を理解し、“なぜ音楽療法が有効なのか?”という、原点を探ります。					
2. 講義計画						
第1週	ガイダンス 古代～中世～ルネサンス グレゴリオ聖歌～ギヨーム・ド・マシキョー					
第2週	ルネサンスからバロックへ 「パレストリーナ」～モンテヴェルディ「オリフェオ」					
第3週	バロックの器楽 ヴィヴァルディ、バッハ、ヘンデル					
第4週	「古典派の音楽」ハイドン、モーツァルト 絶対主義から啓蒙主義へ					
第5週	「古典派の音楽」ベートーヴェン					
第6週	「ロマン派の音楽」シューベルト、メンデルスゾーン					
第7週	「ロマン派の音楽」ショパン					
第8週	ショパン「英雄」「革命」					
第9週	シューマン「子供の情景」「トロイメライ」「鬼ごっこ」					
第10週	ベルリオーズ、リスト 音楽史の流れ概要 中世～ルネサンス～バロック～古典～ロマン					
第11週	19世紀ロマン派オペラ オペラの流れ～ロマン派オペラ ワグナー「ローエングリン」 ヴェルディ「椿姫」					
第12週	新古典主義（後期ロマン派）、ブラームス					
第13週	国民主義・・・北欧東欧 チェコ・・・スメタナ・・・「モルダウ」 ドヴォルザーク「チェロ協奏曲」					
第14週	国民主義・・・ロシア チャイコフスキー、ムソルグスキー「展覧会の絵」					
第15週	フランス音楽（近代） ドビュッシー「牧師の午後～」「垂麻色の～」 ラヴェル「亡き女王のための～」					
第16週	試験準備					
第17週	前期定期試験1					
第18週	前期定期試験2					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（筆記試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：プリントにて対応					
参考書	：					
6. 注意事項						

科 目		療法実践 I (通期)			
担当教員	小川いづみ・菅原洋子	学年	3	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法実習で音楽セッションをする高齢者施設での計画を立案する。				
2. 講義計画					
第1週	福祉生協イリス イリス北8条、	第19週	福祉生協イリス イリス北8条、		
第2週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第20週	福祉生協イリス イリスもとまち、		
第3週	有料老人ホーム ソレイユ、	第21週	有料老人ホーム ソレイユ、		
第4週	はまなす介護センター	第22週	はまなす介護センター		
第5週	各施設にて交代に実習を行う。		第23週	各施設にて交代に実習を行う。	
第6週		第24週			
第7週		第25週			
第8週		第26週			
第9週		第27週			
第10週		第28週			
第11週		第29週			
第12週		第30週			
第13週		第31週			
第14週		第32週			
第15週		第33週			
第16週		第34週			
第17週		第35週			
第18週		第36週			
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習・実習技能・音楽療法演習					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書 :					
参考書 :					
6. 注意事項					

科 目		音楽療法実習Ⅲ（通期）				
担当教員	菅原洋子・小川いづみ	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	136	単位時間		
1. 概要						
目的	実際に校外で行う実習に向けて、学内実習（ロールプレイ）・事前指導などを通して、実践力を身に着ける。ロールプレイを行う中で、留意点・配慮点などを理解し、動くことの意味を理解する。また幼児に指導できるまでの力をつけさせる。					
2. 講義計画						
第1週	円山キッズステーション「PAL」、	第19週	円山キッズステーション「PAL」、			
第2週	NPO法人わたげ放課後ディサービス野いち	第20週	NPO法人わたげ 放課後ディサービス野いち			
第3週	ご、	第21週	ご、			
第4週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援セン	第22週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、			
第5週	ター、	第23週	特定非営利法人はぐくみ会、			
第6週	特定非営利法人はぐくみ会、	第24週	ひばりが丘保育園、			
第7週	ひばりが丘保育園、	第25週	福祉生協イリス イリス北8条、			
第8週	福祉生協イリス イリス北8条、	第26週	福祉生協イリス イリスもとまち、			
第9週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第27週	有料老人ホーム ソレイユ、			
第10週	有料老人ホーム ソレイユ、	第28週	はまなす介護センター			
第11週	はまなす介護センター	第29週	各施設にて交代に実習を行う。			
第12週	各施設にて交代に実習を行う。	第30週				
第13週		第31週				
第14週		第32週				
第15週		第33週				
第16週		第34週				
第17週		第35週				
第18週		第36週				
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法演習・音楽技能・療法実践						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書 :						
参考書 :						
6. 注意事項						

科 目		指揮法（前期）			
担当教員	木村純	学年	3	履修期間	前期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	基本的な指揮の知識および技術を取得する。 音楽療法のセッション時のクライアントに対して、指揮法が役立つ。 また、グループで音楽療法セッションを行うときの、集団での練習にも活用できる。				
2. 講義計画					
第1週	①打法（叩き）の確認練習 ②4つ振りの練習 ③3つ振りの練習				
第2週	①4振りと3つ振りの練習 バイエルNo8,9（連弾）②「ラデッキー行進曲」の音出し				
第3週	①2つ振りの練習「ちょうちょ」（連弾）フェルマータからの音切の練習 ②「ラデッキー行進曲」の音出し				
第4週	①早い2つ振りの練習 ②6つ振りの連数 ③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第5週	①「春の日の花と輝く」（連弾）②6つ振りの練習③「オーラ・リ」の音出し④「ラデッキー・マーチ」のアンサンブル練習				
第6週	①6つ振りの練習「春の日の花と輝く」（連弾）②指揮法用アンサンブルの音出し③ラデッキー・マーチのアンサンブル練習				
第7週	①4つ振りで左手サインを出す練習②アンサンブルの指揮練習③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第8週	①「オーラ・リ」の指揮練習②「野ばら」の指揮練習③「ラデッキー・マーチ」の仕上げ				
第9週	①「オーラ・リ」②「はにゅうの宿」音出し練習③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第10週	①「はにゅうの宿」の指揮練習②「ラデッキー・マーチ」の練習				
第11週	「はにゅうの宿」指揮練習 ①音出し ②楽譜チェック ③指揮練習				
第12週	ひばりが丘保育園での実習練習				
第13週	ひばりが丘保育園での実習リハーサル				
第14週	「ラデッキー行進曲」の練習				
第15週	試験対策1「大きな古時計」				
第16週	試験対策2「大きな古時計」				
第17週	前期定期試験1				
第18週	前期定期試験2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：とくに使用しない				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法演習Ⅲ（通期）				
担当教員	小川いづみ	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的		実際に校外で行う実習に向けて、学内実習（ロールプレイ）・事前指導などを通して、実践力を身に着ける。ロールプレイを行う中で、留意点・配慮点などを理解し、実際に主セラピストおよびコセラピストとして何が必要であるか体験を通して学ぶ。				
2. 講義計画						
第1週	福祉生協イリス イリス北8条、	第19週	福祉生協イリス イリス北8条、			
第2週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第20週	福祉生協イリス イリスもとまち、			
第3週	有料老人ホーム ソレイユ、	第21週	有料老人ホーム ソレイユ、			
第4週	はまなす介護センター	第22週	はまなす介護センター			
第5週	各施設にて交代に実習を行う。		第23週	各施設にて交代に実習を行う。		
第6週			第24週			
第7週			第25週			
第8週			第26週			
第9週			第27週			
第10週			第28週			
第11週			第29週			
第12週			第30週			
第13週			第31週			
第14週			第32週			
第15週			第33週			
第16週			第34週			
第17週			第35週			
第18週			第36週			
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法実習・実習技能・療法実践						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（筆記試験+実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書 :						
参考書 :						
6. 注意事項						

科 目		実習技能 I (通期)			
担当教員	菅原洋子・小川いづみ	学年	3	履修期間	通期
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	児童分野での音楽療法について学ぶ。音楽療法実習の実習先のうち、児童分野での音楽療法セッションの計画を立てる。				
2. 講義計画					
第 1 週	円山キッズステーション「PAL」、	第 1 9 週	円山キッズステーション「PAL」、		
第 2 週	NPO法人わたげ放課後ディサービス野いち	第 2 0 週	NPO法人わたげ 放課後ディサービス野いち		
第 3 週	ご、	第 2 1 週	ご、		
第 4 週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援セン	第 2 2 週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、		
第 5 週	ター、	第 2 3 週	特定非営利法人はぐくみ会、		
第 6 週	特定非営利法人はぐくみ会、	第 2 4 週	ひばりが丘保育園、		
第 7 週	ひばりが丘保育園、	第 2 5 週	各施設にて交代に実習を行う。		
第 8 週	各施設にて交代に実習を行う。	第 2 6 週			
第 9 週		第 2 7 週			
第 1 0 週		第 2 8 週			
第 1 1 週		第 2 9 週			
第 1 2 週		第 3 0 週			
第 1 3 週		第 3 1 週			
第 1 4 週		第 3 2 週			
第 1 5 週		第 3 3 週			
第 1 6 週		第 3 4 週			
第 1 7 週		第 3 5 週			
第 1 8 週		第 3 6 週			
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習・音楽療法演習・療法実践					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書 :					
参考書 :					
6. 注意事項					

科 目		卒業論文（通期）				
担当教員	一戸 憲子	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	講義	単位時間	102	単位時間		
1. 概要						
目的	実習の総括として症例報告を書いているセッションを振り返り、今後の課題等に気づき仕事に反省させる。					
2. 講義計画						
第 1 週	対象者及び目標の書き方の説明 実際に対象者を書いてみる	第 1 9 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 2 週	個人セッションの症例報告の書き方 実習先の個人の症例を書いてみる	第 2 0 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 3 週	考察の書き方の練習をし、書いてみる	第 2 1 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 4 週	今週言った実習の症例報告を書く	第 2 2 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 5 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 2 3 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 6 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 2 4 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 7 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 2 5 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 8 週	実習先の高齢者施設の経過及び結果、考察を書く	第 2 6 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 9 週	今週行った児童デイの経過及び結果を書く	第 2 7 週	卒業論文発表会の発表原稿作成 1			
第 1 0 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 2 8 週	卒業論文発表会の発表原稿作成 2			
第 1 1 週	児童領域の実習の経過及び結果、報告を書く	第 2 9 週	卒業論文発表会の発表原稿作成 3			
第 1 2 週	実習先ホップの経過及び結果を書く	第 3 0 週	卒業論文発表会の予行練習 1			
第 1 3 週	今週言った実習先の考察を書く	第 3 1 週	卒業論文発表会の予行練習 2			
第 1 4 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 3 2 週	卒業論文発表会			
第 1 5 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 3 3 週	卒業論文提出用取りまとめ			
第 1 6 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 3 4 週	卒業論文提出用取りまとめ			
第 1 7 週	前期定期試験 1	第 3 5 週	後期定期試験 1			
第 1 8 週	前期定期試験 2	第 3 6 週	後期定期試験 2			
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法実習の成果報告が中心である。						
4. 成績評価の方法						
日常点および卒業論文および発表で評価する						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: 抄録の書き方					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		和声学（通期）				
担当教員	木村純	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	和声学とは音楽を構成する縦の響きと横の響きの関係を学ぶ学問である。本講座では、実習先のセッションで行う曲の演習を通して和声を学ぶ。					
2. 講義計画						
第1週	オリエンテーション 授業の進め方について	和声の予備知識	第19週	後期に向けての予備知識 和声学上の禁則について		
第2週	予備知識 四声体について 各声部の音域について	隣接声部間の距離について	第20週	和声学上の禁則について 「リトルマーメイド」メドレー		
第3週	基本型三和音の配置 高位について	密集配分と開離配分について	第21週	「アンダー・ザ・シー」		
第4週	密集配分と開離配分について	高位について	第22週	「リトルマーメイド」メドレー		
第5週	基本型三和音の配置	連結	第23週	アンサンブル練習		
第6週	基本型三和音の配置	連結	第24週	第1回転型三和音配置について オクターヴ配分を含む3つの配置について 三音重複の禁止について		
第7週	共通音のない和声連結		第25週	第1回転型三和音配置について オクターヴ配分を含む3つの配置について 三音重複の禁止について		
第8週	共通音のある和声連結		第26週	「happiness」アンサンブル		
第9週	共通音のない和声連結		第27週	「happiness」アンサンブル		
第10週	共通音のある和声連結		第28週	「happiness」アンサンブル		
第11週	基本型三和音の連結		第29週	「happiness」アンサンブル仕上げ		
第12週	基本型三和音の連結		第30週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」		
第13週	基本型三和音の連結		第31週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」		
第14週	基本型三和音の連結		第32週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」		
第15週	基本型三和音の連結		第33週	試験準備1		
第16週	基本型三和音の連結		第34週	試験準備2		
第17週	基本型三和音の連結		第35週	後期定期試験1		
第18週	基本型三和音の連結		第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法実習						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: 和声 理論と実習（1）					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		芸術社会学Ⅲ（通期）				
担当教員	越野陽子	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	音楽療法に不可欠な、様々なジャンルの歌を知る事が目的です。童謡・唱歌・歌謡曲・外国曲・民謡等々、多様な種類と幅広い対象年齢を踏まえて選んだ曲を歌い、伴奏し、先読みし、楽曲の考察を行います。					
2. 講義計画						
第1週	「春が来た」「春の小川」「どじょっこふなっこ」	第19週	「悲しき口笛」「カチューシャの唄」「ゴンドラの唄」			
第2週	「春が来た」「春の小川」「どじょっこふなっこ」	第20週	「コスモス」「ふれあい」「銀色の道」			
第3週	「若葉」「牧の朝」「森の水車」	第21週	「かえり船」「岸壁の母」「りんごのひとりごと」			
第4週	「赤い靴」「青い目の人形」「かなりや」	第22週	「小さい秋みつけた」「月の砂漠」「上海帰りのリル」			
第5週	「おもちゃのチャチャチャ」「おぼけなんてないさ」「サッチャン」	第23週	「世界に一つだけの花」「あの素晴らしい愛をもう一度」「さとうきび畑」			
第6週	「丘を越えて」「高原列車は行く」「憧れのハワイ航路」	第24週	「若者たち」「かあさんの唄」「雪山讃歌」			
第7週	「いつでも愛を」「今日の日はさようなら」「明日があるさ」	第25週	「東京ラプソディ」「銀座カンカン娘」「銀座の恋の物語」			
第8週	「白いブランコ」「シクラメンのかほり」「ブルーシャドー」	第26週	「旅愁」「埴生の宿」「故郷の廃屋」			
第9週	「一寸法師」「花咲じじい」「牛若丸」	第27週	「星に願いを」「虹の彼方に」「小さな世界」			
第10週	「川の流れるように」「人生いろいろ」「水戸黄門」	第28週	「サザエさん」「ドラえもん」「アンパンマンのテーマ」			
第11週	「バラが咲いた」「幸せなら手をたたこう」「花嫁」	第29週	「いい湯だな」「幼なじみ」「恋のバカンス」			
第12週	「真っ赤な太陽」「霧の摩周湖」「瀬戸の花嫁」	第30週	「一杯のコーヒーから」「北国の春」「北の宿」			
第13週	「椰子の実」「宵待草」「琵琶湖周航の歌」	第31週	「地上の星」「時代」「昴」			
第14週	試験課題配布 暗譜10曲 先読み「若葉」	第32週	試験曲決定 暗譜10曲 先読み2曲			
第15週	試験練習1 先読み「丘を越えて」	第33週	「悲しき口笛」			
第16週	試験練習2 暗譜10曲	第34週	「カチューシャの唄」			
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1			
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点						
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：音楽療法の現場から贈る 歌の宝石箱1～3					
参考書	：					
6. 注意事項						

科 目		合唱Ⅲ（通期）				
担当教員	越野陽子	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	合唱の目的は、音を重ねた時のハーモニーの美しさを体感する事。セッションの内容に変化を持たせ、より豊かさを加える為にも、合唱で体験した響きの美しさを、音楽療法の現場で再現させる為の応用法を学びます。					
2. 講義計画						
第1週	「校歌」「ロンドン橋+メリーさんの羊」	第19週	「時代（二部合唱）」「旅愁」			
第2週	「校歌」「遠くへ行きたい」「うるわし春よ」	第20週	「時代（二部合唱）」「旅愁」			
第3週	「ドレミのカノン」「涙そうそう」	第21週	「時代（ハーモニー作り）」「旅愁（音とり）」			
第4週	「うるわし春よ」「涙そうそう」「ダニーボーイ」	第22週	「旅愁（二部合唱）」「夜明けから日暮れまで」			
第5週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第23週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」			
第6週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第24週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由（音とり）」			
第7週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第25週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」			
第8週	「ブルーシャトウ」「パートナーリング」「花まつり」	第26週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」			
第9週	「花祭り」「麦の唄」「はじめの一步」「ほたるこい」	第27週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」			
第10週	「はじめの一步」「ほたるこい」	第28週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」			
第11週	「はじめの一步」「ほたるこい」「コンドルは飛んで行く」	第29週	「夜明けから日暮れまで」			
第12週	「はじめの一步（二部合唱）」「ほたるこい（パート分け）」	第30週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」			
第13週	「はじめの一步」「ほたるこい」「麦の唄（パート分け）」	第31週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」			
第14週	「コンドルは飛んで行く」「ほたるこい」	第32週	「見上げてごらん夜の星を」			
第15週	「遠くへ行きたい」「ダニー・ボーイ」	第33週	「見上げてごらん夜の星を」（二人で一組 上下パート）			
第16週	「コンドルは飛んで行く」「ほたるこい」	第34週	「見上げてごらん夜の星を」（二人で一組 上下パート）			
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1			
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点						
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書 :						
参考書 :						
6. 注意事項						

科 目		デジタルサウンド基礎実習 I (前期)				
担当教員	宮崎亮	学年	3	履修期間	前期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 デジタル機器を使っての演奏、作曲できるだけの技術を学ぶ。					
2. 講義計画						
第 1 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 1					
第 2 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 2					
第 3 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 1					
第 4 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 2					
第 5 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 1					
第 6 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 2					
第 7 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 1					
第 8 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 2					
第 9 週	「春」 整理。フリーで1曲作る。 1					
第 10 週	「春」 整理。フリーで1曲作る。 2					
第 11 週	「春」 整理。フリーで1曲作る。 3					
第 12 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード, メロディー, +d 1					
第 13 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード, メロディー, +d 2					
第 14 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード, メロディー, +d 3					
第 15 週	試験準備 1					
第 16 週	試験準備 2					
第 17 週	前期試験 1					
第 18 週	前期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
デジタルサウンド基礎実習 II						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験 (実技試験) および課題点により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: プリントにて対応					
参考書	:					
6. 注意事項						
パソコンを使っての実習である。						

科 目		デジタルサウンド基礎実習Ⅱ（後期）				
担当教員	宮崎亮	学年	3	履修期間	後期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34単位時間			
1. 概要						
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 デジタル機器を使っての演奏、作曲できるだけの技術を学ぶ。					
2. 講義計画						
第1週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	1				
第2週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	2				
第3週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	1				
第4週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	2				
第5週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	1				
第6週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	2				
第7週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	1				
第8週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	2				
第9週	B・POP 自前で作る	1				
第10週	B・POP 自前で作る	2				
第11週	B・POP 自前で作る	3				
第12週	Bright POP自作	1				
第13週	Bright POP自作	2				
第14週	Bright POP自作	3				
第15週	試験準備	1				
第16週	試験準備	2				
第17週	後期試験	1				
第18週	後期試験	2				
3. 関連科目及び注意点						
デジタルサウンド基礎実習Ⅰ						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：プリントにて対応					
参考書	：					
6. 注意事項						
パソコンを使っての実習である。						

科 目		器楽Ⅲ（通期）				
担当教員	木村純	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	音楽療法のセッションで行う、器楽での演奏方法を学ぶ。 また、音楽療法実習で演奏する曲の練習も行う。					
2. 講義計画						
第1週	アコーディオン ピアノ連弾	第19週	「勇気100%」「私のお気に入り」			
第2週	予備知識 各声部の音域について	第20週	「虫の声」「まっかな秋」			
第3週	「春」「小川」 ピアノ連弾「春が来た」	第21週	「虫の声」「まっかな秋」「私のお気に入り」			
第4週	「ドレミの歌」	第22週	「虫の声」「まっかな秋」「ディズニー・メドレー」			
第5週	「ドレミの歌」 ピアノによるコード練習	第23週	「ディズニー・メドレー」			
第6週	「ドレミの歌」 連弾による和音練習	第24週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」			
第7週	「エーデルワイス」「ドレミの歌」	第25週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」			
第8週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第26週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」			
第9週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第27週	「おどるポンポコリン」「あわてんぼうのサンタクロース」			
第10週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第28週	「おどるポンポコリン」「お正月の3つの歌」			
第11週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第29週	「おどるポンポコリン」「お正月の3つの歌」「ジングルベル」			
第12週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第30週	「おどるポンポコリン」「冬の星座」			
第13週	「小さい秋見つけた」	第31週	「おどるポンポコリン」「虹と雪のバラード」			
第14週	「小さい秋見つけた」	第32週	「おどるポンポコリン」「虹と雪のバラード」			
第15週	試験準備1	第33週	試験準備1			
第16週	試験準備2	第34週	試験準備2			
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1			
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点						
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書 :						
参考書 :						
6. 注意事項						

科 目		音楽心理学（前期）				
担当教員	一戸 憲子	学年	3	履修期間	前期	
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	講義	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	人間の音楽に対する生理的、心理的反応を探り、音楽活動全般について基本的理解を深める。 音楽療法場面での音楽活用方法を学ぶことを目標とする。					
2. 講義計画						
第 1 週	音楽と科学について 音楽と生存価値・人は音楽に操られる 音楽が不可欠な現代社会					
第 2 週	音楽が不可解な現代社会 先端技術と音楽 音楽をストレスという側面からとらえると 1					
第 3 週	音楽が不可解な現代社会 先端技術と音楽 音楽をストレスという側面からとらえると 2					
第 4 週	実習先の経過及び結果、考察を書く。考察では主観的に書く練習をする					
第 5 週	音楽心理学の方法 観察法 実験法 質問紙法					
第 6 週	音楽心理学の方法 観察法 実験法 質問紙法					
第 7 週	旋律の高温的側面について					
第 8 週	リズム（旋律の時間的側面）拍節構造の知覚					
第 9 週	リズムの時間的側面について 音楽リズムの運動的側面 感情的側面					
第 10 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 1					
第 11 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 2					
第 12 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 3					
第 13 週	音楽と脳について 脳の構造について 脳損傷研究 機能局在について					
第 14 週	レポートの提出について説明					
第 15 週	刺激的音楽と鎮静的音楽の性質 儀式における音楽について					
第 16 週						
第 17 週	後期試験 1					
第 18 週	後期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（筆記試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		日本音楽（後期）				
担当教員	一戸憲子	学年	3	履修期間	後期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	日本音楽のリズム・和音・スピードなど、伝統的な日本音楽の特徴を学ぶ。					
2. 講義計画						
第1週	日本音楽の時代区分・系統・分類					
第2週	日本音楽には「何故 金属楽器がないのか?」「何故さまざまな音色があるのか?」					
第3週	「日本音楽では何故演奏者が声を出すのか」「日本音楽では何故何を歌っているのかわからないのか」					
第4週	「日本音楽では何故、指揮者がいないのか」「日本音楽では何故、調弦調律しながら演奏するのか」					
第5週	日本音楽では何故、正座をしてえんそうするのか、美声というのとはどんな声なのか、リズムとメロディーとハーモニー					
第6週	伝統芸能・伝統音楽とはなにか まとめ 日本音楽の特色					
第7週	童謡 唱歌 流行歌の作曲家について学ぶ					
第8週	声明、平曲、琵琶学 能楽について学ぶ					
第9週	邦楽用語の説明1					
第10週	邦楽用語の説明2					
第11週	卒業論文指導1					
第12週	卒業論文指導2					
第13週	卒業論文指導3					
第14週	卒業論文指導4					
第15週	試験準備1					
第16週	試験準備2					
第17週	後期定期試験1					
第18週	後期定期試験2					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）と課題により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: プリントにて対応					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		パソコン実習（通期）				
担当教員	加藤雅博	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制					
種別	演習	単位時間	68 単位時間			
1. 概要						
目的	Word、Excel、PowerPointおよびパソコンの操作の基礎を学ぶ。					
2. 講義計画						
第1週	Windows10の基本操作1	第19週	前期の復習			
第2週	Windows10の基本操作2	第20週	Excel基礎1	入力の方法、フィルハンドル		
第3週	Word基礎1 画面、日本語入力、操作方法	第21週	Excel基礎2	オートサムボタンの活用		
第4週	Word基礎2 ショートカットキー マウスポインタ	第22週	Excel基礎3	絶対参照・相対参照		
第5週	Word基礎3 書式の設定（センタリング等）	第23週	Excel基礎4	丸め（INT ROUND）		
第6週	Word基礎4 均等割り付け、表の挿入	第24週	Excel基礎5	順位（RANK. EQ）		
第7週	Word基礎5 テキストボックス・図形の挿入	第25週	Excel基礎6	分岐（IF）		
第8週	Word基礎6 画像の挿入、画像の加工	第26週	Excel基礎7	表検索（VLOOKUP）		
第9週	Word基礎7 ビジネス文章作成	第27週	Excel基礎8	論理関数（AND, OR）		
第10週	Word基礎8 ビジネス文章作成	第28週	Excel基礎9	表計算検定模擬		
第11週	Word基礎9 POPの作成	第29週	Excel基礎10	表計算検定模擬		
第12週	Word基礎10 POPの作成	第30週	PowerPoint1	操作基本		
第13週	Word基礎11 ワープロ検定3級模擬	第31週	PowerPoint2	テキスト・画像		
第14週	Word基礎12 ワープロ検定3級模擬	第32週	PowerPoint3	グラフ挿入		
第15週	Excel概要2 セル・ワークシート・ブック	第33週	PowerPoint4	卒論資料作成		
第16週	Excel概要2 数式の考え方	第34週	PowerPoint5	卒研資料作成		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1			
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（筆記試験＋実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:					
6. 注意事項						
パソコンを使つての実習である。						